

第15回 春日井市交響楽団 定期演奏会



2006年

9月17日(日)

15時開演(14時開場)

— モーツァルト生誕250年記念 —

モーツァルト
「コシ・ファン・トゥッテ」序曲
ピアノ協奏曲 第27番

シベリウス
交響曲 第2番



ピアノ独奏
ジャンルーカ・ルイージ



指揮
吉住 典洋

春日井市民会館

入場料：1,000円（全自由席）

入場券：7月12日(水)より 市民会館、文化フォーラム春日井文化情報プラザ、市役所情報コーナー味美・高蔵寺・南部・西部ふれあいセンター、坂下公民館、清水屋案内所、サンマルシェ案内所、ルネック7階管理事務所で販売

問い合わせ 春日井市交響楽団事務局(0568)51-1111(代) 春日井市文化課(0568)85-6079
主催：春日井市交響楽団 後援：愛知県教育委員会、春日井市、春日井市教育委員会、(財)かすがい市民文化財団、中日新聞社



春日井市交響楽団団長
花村 浩克

ごあいさつ

今年はモーツアルト生誕250年の記念の年です。アマチュアのオーケストラにとっても、モーツアルトの音楽ほど素晴らしいものはありません。美と真と善がそろっているモーツアルトの音楽を、そのままみなさまにお聴かせできるのを誇りに思っています。メインのステージはオーケストラの定番、シベリウスの「交響曲第2番」です。フル・オーケストラならではの重厚でダイナミックな響きをお聴きください。

指揮者の吉住典洋先生のご指導で、今年も「名曲の名演奏」を実現することに自信を深めています。この美と感動の春日井市交響楽団第15回定期演奏会に、ぜひ、みなさまおそろいでお出かけ下さいよう、お願ひいたします。



正統的なナポリ・ピアノ楽派の後継者で、心と技巧と即興性を合わせ持つ天才的ピアニスト。1970年南イタリアのペスカラ生まれ。6歳からピアノを始めた。1991年にペーザロのロッシーニ音楽院でフランコ・スカラに師事して、優秀賞のデプロマを取得。その後、ラザール・ベルマンやイエルク・テムスの教えを受ける。現在も、ナポリで巨匠アルド・チッコリーニに助言を受けている。イタリアの多くの都市で演奏会を開き、ドイツ・ツアードでは、彼の新鮮なバッハ演奏が批評家と大衆の双方から絶賛された。各地のコンクールでも優勝を重ね、特にモーツアルトの最高の演奏者として「モーツアルト賞」(アキラ市)を、また、「音楽都市賞」(ローマ市)を受ける。現在は、演奏活動とともに、イモラ音楽院で後進に指導に当たっている。2007年2月には、ニューヨークのカーネギーホールでのデビューがひかえている。

Conductor 吉住 典洋[指揮]



愛媛県今治市生まれ。大学在学中より指揮活動を開始。名古屋二期会、中川良平のTokyo Bach-Bandなど数々のオペラ、ミュージカル等のアシスタントを務める。1999年、名古屋市文化振興事業財団主催「かるめん・じょんず」(原作 G.Bizet:Carmen)の公演中に急遽指揮を命ぜられピット・デビュー、好評を得た。以後、「ヘンゼルとグレーテル」「フィガロの結婚」「オペラを作ろう『小さな煙突掃除屋さん』」などの作品を指揮する。2005年から劇団四季「オペラ座の怪人」ロングラン公演に参加。オーケストラではセントラル愛知交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団に出演するなど東海地方を中心に活躍している。

愛知県芸術大学管打楽器コース卒業、研究生を経て同大学大学院音楽研究科終了、よんでん文化振興財団奨学生。現在同大学非常勤講師。

春日井市交響楽団[オーケストラ]

市民オケである春日井市交響楽団は、ベートーヴェンの「第九交響曲」の演奏会を春日井市で開きたいという市民の思いから生まれました。それを受け、「市民が演奏し・市民が聴く、春日井市民のオーケストラ」として、市内の音楽愛好家を中心に、1990年(平成2年)11月に創立されました。愛称『カポ』(KAPO)は英字名称「KASUGAI CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA」の頭文字をとったもので、イタリア語の「カポ」(capo 頭・先頭に立つ者)の思いもあります。毎年、7月(今年は9月)の定期演奏会と12月の「春日井市民第九演奏会」を中心に、数多くのオーケストラ活動を行っています。団員は、会社員・公務員・教員・医師・主婦・学生・自営業者などからなる60名。私たちにとって最大の喜びは、一人でも多くのみなさまに演奏会においていただき、音楽を聴く喜びとともにクラシック音楽が好きになっていただくことです。そのために、「春日井で名曲の名演奏を」と心がけています。また、「春日井の開かれた音楽の窓」となって国内外の最高の音楽家との共演にも努めています。これからも、さらに、市民のみなさまに親しまれ、愛されるカポとして、市民音楽活動をつづけて参ります。温かいご支援をお願いいたします。